

平成21年度
第5回新城市総合計画市民委員会

会 議 録

平成21年10月9日（月） 午後4時から午後6時

《 新城市役所 東庁舎 委員会室 》

平成21年10月15日 調整

事務局 お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。
欠席の方が多く、あと一名若干遅れてくるという連絡をいただいておりますので、始めさせていただきます。
本日はお聞きしました意見につきまして、答申内容をご協議いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
会長さんからご挨拶をいただきたいと思っております。

夏目会長 みなさん、こんにちは。
今週は2回目ということで、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
皆さん方の意見は本当に熱くて、新城のことを本当に思っているのが伝わります。今回も答申案の協議ということになりますので、皆さんの意見をまとめていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。
今日の議事録書名人を会長一任でよろしいでしょうか。

【異議なし】

夏目会長 それでは、森田委員と井上委員さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

事務局 ありがとうございます。
議事に入ります前に、経過説明と報告事項について事務局から説明をいたします。

事務局 【経過説明】

- ・ 第4回市民委員会（9月25日）の流会
- ・ 市民委員会・地域審議会合同勉強会（10月5日）
- ・ 諮問の扱いについて

【報告事項】

- ・ 加藤委員の辞任に伴う新委員の選任について

夏目会長 それでは議事に入らせていただきます。
本日は答申に盛込む内容について、皆さんで協議をしていきたいと思っております。

事務局 補足説明をさせていただきます。
今までの答申を眺めていただくと、個々の事業に対して具体的な書き方をしておりません。従来通りの答申の仕方をするのか、個々の事業について答申をしていくのか。市民委員さんの得意とする分野がそれぞれ違うかと思っておりますので、どこがどう思うといった発言をいただきますと、事務局側で答申案が作成できるかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

夏目会長 それでは、まず1点目、答申を従来通りの書き方でよいのか、もっ

と具体的な書き方がよいのか、ご意見をお願いいたします。

瀧川委員 市民委員会の答申が、どこまで反映される権限を持っているのでしょうか。

事務局(佐宗) 市長がどのように判断するかですが、答申は担当課に届きます。今回は部局のマネジメントの中で、是非検討されたいということですので、漠然とした書き方をしてしまうと実施計画に変更はみられないように思います。

例えば、事業の進捗状況というものが、実施計画シートでは見えていないといった意見もありましたので、そういったところを具体的に書くように言うだけであれば、事業の進捗状況も掴みやすくなるかと思えますし、実施計画シートの見直しにもつながるかと思えます。

瀧川委員 行政経営編について、実施計画シートが出ていないというのは大きなことだと思っております。行財政改革に関わるのところは、市民も大いに関心があるかと思えますので、「定員適正化計画の策定と公表・実施事業」や「行政評価制度導入事業」など、本当に行っているのかわかるようにしていただきたい。

個々の事業について答申をするのは、例えば学校だったらどれでも作れといった実現性のないものではどうかと思えますので、市民から声が上がっているものについて答申を行っていくのがよいかと思えます。

吉田委員 3回目の答申になりますが、1,2回目の答申の反映状況を表にしていただければ、モヤモヤとした部分が多少すっきりとするかと思えます。我々の答申に対して市長はどういうアクションを起こし、どういう具合で各課にフィードバックされて、どういう具合に反映されたといったことをクリアにしていきたい。

絞り込んで答申を行うとしたら、例えば「河川改修事業」について合同勉強会で意見を述べさせていただきました。多自然型といったことだったので、大いに民間の意見を入れて欲しいこともあり、協働指数を行政主体から双方対等にしていただきたいということでした。

また、H23年度の予算が一般財源から2500万円とありますが、環境に対して力が入っていないように感じますので、その2500万円を回せたいといった時に、できるのかできないのかといったことがわかり難いので、答申を絞り込むにしてもどこまでできるのかなといった感覚であります。

総予算が約400億、そのうちの各部の裁量で用途できる事業費は7億くらいしかないが、少なすぎないか。また、予算が0で事業が上がってきているものがあるが、これは義務的経費で行うということでしょうか。

事務局（熊谷）河川改修事業は、各地区から要望のあったものに優先順位をつけながら取り組んでおります。他地域の人から、必要ないのではといった声があっても、行政が主導で行なっているものではなく、地区からの要望ということで行っていますので、取りやめることは難しいかと思えます。

吉田委員 五反田川の氾濫は今までに無く、あくまで可能性があるという話だったら、立ち退きや嵩上げ、補助金を出すといったことをした方がいいように思います。全市を見たときに、そこまで緊急性、重要性のある事業には思えません。

事務局（熊谷）答申に盛込むかどうかは別として、そういった意見もお聞きしたいと思います。

予算が0の事業につきましては、お金を使わずにできる事業となっております。例えばH22年度に予算0で、H23年度に予算があるような事業は、H22年度には準備作業のみで事業をやらないといったことも考えられます。

A判定事業も、総合計画の重点プロジェクトに位置づけられた事業でございますので、政策的経費として、15億も含んだ22億が総合計画の事業となっておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

また、義務的経費の中にも総合計画に掲げられている事業がございます。

吉田委員 病院といったことなどわからない部分が多くありますので、私どもに特に審議していただきたいものに印等つけていただければと思えます。

森田委員 議論は具体的だが、答申が抽象的だと行政のとらえ方が違う場合があると思えます。個々のシートを見て話し合われた結果が、今までの答申の項目に出てきているとは思いますが、我々としてはこんなに議論したのにと感じるを受けてしまいます。核心をついたものだとは思いますが、どの事業について話をしたのかが出てこないように思いますので、例えば事業番号をつけるといったことをすれば、具体的に become と思えます。

瀧川委員 大きな4本の柱に対しての進捗度を我々がつけて、その理由に皆さんの思いと現実とのギャップといったことも含め書くといった方法はいかがでしょうか。

安藤委員 市長の諮問に対し答申を行っているのだから、答申に対しても事業への反映や結果についての答えをいただきたい。各部所にて点数をつけているようですが、全体ではどこまでできたのかといった回答をいただきたい。

森田委員 実施計画シートに進捗状況を記入する欄がないので、どこまで事業が進んでいるのかわからず判断できません。進捗状況を記入する欄を設けてもらえれば、各部所が出した評価に対して、意見をいうことができるようになると思います。今までは、進捗状況を見ることができなかつたため、言っぱなしになり、答申の際に抽象的になったように思います。

八木委員 PDCAのCについて、市長が行う自己点検、行政の皆さんの点検、監査委員の点検といったものと、我々が行う点検は違うと思います。点検に必要な資料があったとしても、その中身について点検をしていってしまうと、市民委員会として期待されていることができなくなることがあるように思います。

市民委員会の存在意義のあるような議論を行ない、それを答申として出すというのが我々の任務だと思います。

夏目会長 八木委員さんにとって、市民委員会としての役割とはどんなものだと考えていますか。

八木委員 予算が適切かどうかといったことは、行政を熟知していないと言えないように思います。夢や希望をどんどん言うだけでは意味がないと思いますので、新しいまちづくりをしていく上で、実施計画シートに掲げている事業の進捗状況の説明を受けて、評価をする。そのプロセスが大事なのではないかと思います。

安藤委員 答申の仕方については、従来通りでいいように思います。第4回の市民委員会の資料で、それ以前の議論で出た優先度について反映されていたかと思います。議論のあったことに対して反応があったということで、そういう資料を渡していただければ十分だと思います。

地域審議会がそっちのけになってしまっているように感じます。各地区の市民が安心できるように作られた地域審議会があるのだから、地域審議会に先にかけるべきではないかと思います。昨年の10月23日の答申にある1の(1)にある「施策の目的等を達成するためにふさわしい実施手順となっているか、再度検証されたい。」という部分を「地域審議会にかけてから、市民委員会にかける。」ぐらいに書いてもいいように思います。いろいろな委員会がある中で市民委員会の負担が大きいように思います。

夏目会長 このままでも良いという意見もございしますが、具体的に書いていくことで私たちの気持ちが伝わるのかなと思う部分がございます。

事務局としては、今までのような答申に付け加えていくという形をとっていくということでしょうか。

事務局（佐宗）今までの答申に、付け加えていくというやり方であれば可能ですが、戦略ごとに評価をするといったことや点数化といったことになりますと、別の視点から検討を加え、考えなければならないかと考えております。事務事業ごとの評価を積み重ねていけば、基本戦略の評価も出るのかなと思っておりますが、せいぜい5段階評価といったことしかできないかと思えます。

具体的なことを答申に書いていただくというのは、職員へのインパクトを考えるといいのかなと思えます。

森田委員 議会だよりの中で、議員さんの質問に対して「市民委員会で議論をしていただいております。」という回答をしており、市民委員会の答申は責任重大だと思えました。

瀧川委員 我々が事業を実施しているわけではないので、細かいことはわかりませんがありません。具体的なことを書いても、行政サイドは喜ばしいことであっても、市民サイドにとっては喜ばしいかといった話は別の話です。だから、市民としての意見をいい、それが具現化されなくても評価をしたという方がいいのかなと思えます。「細部の細かい事業は達成したが、目標とする姿は達成できていない。つまり根幹となる事業がないのではないか。」といったもので良いように思います。病院のような中身のわかり難い事業であっても、市民の関心のある事業は載せるべきだと思えます。細かな事業シートを見ただけでも、市民としては気になるといったことでも良いと思えます。

森田委員 実施計画シートに各部所の評価と共に、評価の理由を載せてもらいたいと思えます。現在の実施計画シートでは進捗状況がわからないので、市民委員会としての評価ができません。

瀧川委員 事業に終わりが決まっていけないものに、進捗状況を計ることはできないと思えます。しかし、分かっているのに進捗状況がないものを評価することはできないと思えます。

森田委員 私も、先日の合同勉強会で意見を述べさせていただいた「人材育成事業」のように、5年間で5人育てるといった明確に目標が立てれるものと、明確に目標を立てることができないものもあると思えます。

瀧川委員 変えていけばいいと思えます。計画を変えてチェックして、アクションを起こせばいいと思えます。5年のスパンで3年経ったが、進捗しているかということがわかればいいと思えます。途中で修正をして、4年でやりきろうといったことでもいいと思えます。

夏目会長 実際には進捗状況が分かるわけではないですが、答申をどこまで具体的に出していくのかをまとめていかなければいけないと思えます。

しかし、個々の事業を載せるといったことではなく。

瀧川委員 地域審議会でも H17 年度から進捗管理に変化がないので、いつもと違った答申でいいように思います。インパクトを与えて、事業修正につながるかはわかりませんが、市民アクションをかけるべきだと思います。

森田委員 先日の合同勉強会でも感じましたが、地域審議会のように何年も蓄積された知識や流れといったものを私自身が持っていないため、答申しろと言われた時に、実施計画シートしか判断するものがありませんので、事業内容と進捗状況といったことを実施計画シートに載せていただきたい。事業内容と進捗状況がわからない状況で判断しても無責任だと思いますので、よろしくお願いします。

企画部長 先ほどの森田委員の質問について、8月に出された「議会だより」に市民満足度の関係で載っております。市民の目線での検証が必要であるということで、総合計画市民委員会を設置して各事業の評価に取り組んでいると答えさせていただきました。

森田委員 市民委員会が評価をしなければいけないとすれば、優先度の評価も評価ですが、事業の進捗度を評価するとなると、これだけの資料では評価する自信がありません。

夏目会長 答申の評価の仕方ですが、やはり個々の事業を評価するというのは難しいので、4つの戦略ごとに評価をしていくのかと思います。それに対して、私たちの評価とその理由を載せた答申になっていけば皆さんの意見をまとまっているのかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局（佐宗）いろいろなご意見をいただきまして、ありがとうございます。

諮問が「総合計画の進捗状況について」と漠然とした中で、核となる進捗具合について、多くのご意見をいただいたと思っております。

市民委員会には3次評価をしてもらうという位置づけをしております。確かに個々の事業を評価していくことで進捗につながるかと思いますが、8月の答申に載せましたように、限られた時間で膨大な資料を見て評価を行うというのは難しいということで、総合計画の理念や施策の目的等達成されるために、一つ一つの事業があるのかを検証して欲しくてご意見をいただいておりますが、市民に対して分かり易いかと言われるとわかり難いものを感じました。ご議論いただいたものをどうまとめようかと考えている途中ですが、市長マニフェストのように数字での進捗状況を表わすものにしようかと考えております。個々の事業について多少は触れなければいけないかと思いますが、まず表をつけて、その後に個々の事業に触れるといった形の答申にできるように頭をひねってみたいと思います。

森田委員 事業の進捗や成果を表わすのは、成果指標だと思っております。しかし、事業の目的と成果指標が妥当なのかどうか疑問に思うものが多いです。また、成果指標の目標とする数値自体にも疑問に思うところがあります。

事務局（佐宗）実施計画シートの成果指標の右側に最終目標値を書く欄を設けてございますが、ほとんど埋まっておりません。最終目標値が埋まっていると、毎年度の進捗状況を計る1つの目安になるのかと改めて思いました。同じくありました最終目標値が正しいのかどうかということですが、その点についてご意見をいただくというのも市民委員会の職務の中に加えていただければと思います。施策達成度指標の市民満足度が上がってこなければ、個々の事業をいくらやっても施策を達成する事業なのかどうかわかりづらい部分もございりますが、成果指標の最終目標値をきちんとしたものを立てることが、進捗管理につながるのかと思います。

吉田委員 総合計画の4つの戦略を達成するために個々の事業がございりますが、無理やり体系にはめ込んでいる事業が見受けられます。個々の事業に評価をしていくというのは、とてもじゃないができませんので、市民病院のことだとか、自治区と行政区の関係のことだけを取り上げて行うべきだと思います。

森田委員 私も個々の事業の評価をするのではなく、全体の評価をするにあたり、評価するための資料として個々の事業の進捗状況等が欲しいと思います。

瀧川委員 実施計画シートの形を再検討し、それだけではわかり難いかと思いますので表をつける。4つの戦略に行政経営編を加えたものの進捗度を何パーセントで表わし、理由を書く。ここは、個々の事業を見ることはできないかと思っておりますので概略でいいかと思っております。実施計画シートに書かれている進捗状況と現実とのギャップを埋めていけば、実際はそんなに進んでいないではないのかといったことが書けるかと思っております。

その評価の後に、皆さんが出した優先すべき事業を具体例として書けばいいのではないのでしょうか。

夏目会長 具体例は今まであがってきたものを書いていけばいいかと思っております。何点といったところは難しいとは思いますが、ある程度出来てきたかと思っております。

事務局（熊谷）実施計画シートのばらつきがあるというご意見をいただきました。職員のシートの書き方も理解していない部分がございます。やはり、

職員のレベルアップを図っていかなければいけないかと思っておりますので、そこらへんも今後の課題とさせていただきたいと思えます。

夏目会長 実施計画シートは、市民委員会が評価をするために作られたものでしょうか。

事務局（熊谷） そういうためのものではありません。職員が事業を行うにあたり確認するためのものになります。

夏目会長 評価をするためのものではないということで、視点的に違う部分がございますが、進捗状況を入れていただくということは必要なことと思えます。

安藤委員 市民側の視点も入れていただきたい。

事務局（佐宗） 前回評価シートを作成したのですが、どうするために誰が何をやる事業なんだといった書き方が必要かと思えます。突き詰めていくと全て同じようなものになってしまうため、書き方を工夫する必要がございますが、事業を説明するにあたり必要かと思えます。

吉田委員 平成21年8月の諮問の2の（3）に書いてあるような誰しもが考え付くようなものではなく、独自性のあるようなものをあげていただきたい。例えば、「木の温もりのあるまち」を全国に訴っていった場合、森林産業もしっかりと進めていかなければいけない。加工産業も進めていけないといけないうように、新城市全域での雰囲気づくりを行い。1つの方向性に向け、観光スポットの創造を進めていくと連鎖的に環境の面や雇用の面などなどまちが活性化していくように思えます。そういった観光や環境などを結びつけたような答申にさせていただきたく思えます。

夏目会長 ありがとうございました。
具体的な答申の方向性が出てきたかと思えます。それでは議事を終了させていただきたいと思えます。

事務局 【今後の予定説明】

＝ 午後6時 閉会 ＝